高田小学校だより

５月号　　No. 2

【教育目標】
自ら学び　心豊かで
たくましく生きる児童の育成

令和４年　４月２８(木)
文責：校長　博多弘泰

開校150年目

高田小学校は、明治6年4月に高田外3か村を区域とし、高田村長光寺を仮校舎として開校され、今年150年目を迎えました。昭和22年～昭和36年にかけては児童数が1000名を超え、現在(児童数275名)の約4倍もの児童が学んでいました。

校章(その学校を象徴するためにデザインされた紋章)は、秀峰明神嶽を中心に、清流宮川・谷の渓流・桜花らんまんが配置されおり、また、たくさんの思い（「希望・実力」「前進・清潔」「協力・友情」「気品・明朗」）が託されています。児童数が減少していますが、その思いを忘れず、150年目の歴史に新たな1ページを刻むために、新たな一歩を踏み出していきたいと思います。今後、機会を見つけて子どもたちに校章の由来についての話をします。子どもたちは、由来を知ることで学校への思いを深めるきっかけになり、学校の過去を知ることで今を知ることに繋がるのではと思います。

算数科でグループ別学習(3～6年)

今年度、「算数専科教員配置」により、グループ別学習が可能になりました。3年生以上の学年で、大型連休明け以降実施していきます。グループ別学習は、学級ごとに2つのグループをつくり、担任と算数専科教員の2名で指導することで、自分の学びに合わせた学習、自分に合ったペースでの学習ができるようにします。さらに、グループ別での学習を通して、**見えない学力**の一つである「分かる・できる喜び」を実感できるようにすることで、学ぶ意欲を高め、学力の向上に結び付けていきたいと考えています。なお、グループ分けは、学年の実態や児童・保護者の方の意向を汲みながら柔軟に対応していきたいと思います。

通学班での安全な登校

朝の子どもたちの様子を見ますと、班長が先頭で1年生の歩くペースに合わせ、しっかりと1列になって安全に登校できています。また、横断歩道では、班長が安全を確認し、安全旗をしっかり示して班員を横断させています。また、横断するときは、副班長が先頭になり下学年を誘導しています。さらに、横断し終わった時、運転者へお礼を言っています。これらは、上級生としての役割をしっかりと自覚しているとともに、高田小学校に続く素晴らしい伝統をしっかり受け継いでいる姿だと思います。子どもたちの安全な登下校には、通学路の安全性を確保する必要があります。そのためにも、保護者の方や地域の方の協力も不可欠です。安心して子どもたちが登下校できるよう、今後も連携協力をお願いいたします。

５月の行事予定

2日(月)心電図検査(1・4年)
10日(火)集金日
11日(水)内科検診(1～3年 とちのき あやめ)
13日(金)運動会準備(短縮5校時)
14日(土)運動会
15日(日)運動会予備日
16日(月)繰替休業日
17日(火)田植え(5年)
18日(水)耳鼻科健診 クラブ活動
20日(金)内科健診(4～6年)
23日(月)甲状腺検査(5･6年)
24日(火)眼科健診
25日(水)サツマイモ苗植え(2年) クラブ活動
27日(金)遠足(1～3年) プール清掃(5・6年)

基礎的・汎用的読解力の向上

「基礎的・汎用的読解力」とは、事実や根拠に基づいて書かれた文章(教科書や新聞、説明書など)の意味や内容を正確に理解する力のことです。また、学習を効果的に進めるための学習スキルの一つで、授業のねらいを達成する土台の資質・能力です。本校では、「基礎的・汎用的読解力」の向上をテーマに算数科において研修を進めることになりました。日々の授業で、教科書等を「正確に読むこと」を大切にしながら、授業改善を図っていきたいと考えています。今後、町の指導主事の指導・助言を受けながら、研究授業を重ね、正しく読まなければならないという必要感を大切にした授業づくりに努めていきます。